

2 令和5年観光入込客等調査結果の概要

(1) 全体概況

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、各種イベントでは人数制限が撤廃され、コロナ禍前と同様の実施形態で開催されるところが多くなった。

また、全国の旅行者を対象に京都府内旅行に対する割引やクーポン券発行の支援が令和4年に引き続き実施されたことや、円安の影響等により、国内外からの観光客が増加した。

これらの結果、令和5年の京都市を除く府域の観光入込客数は令和4年比で108%、観光消費額は令和4年比で129%となった。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">■ 令和5年の京都府観光入込客数は7,518万人（対前年比113%、令和元年比101%）
京都市を除く府域では2,490万人（対前年比108%、令和元年比120%）■ 令和5年の京都府観光消費額は1兆6,578億円（令和元年比125%）
京都市を除く府域では1,211億円（対前年比129%、令和元年比133%） |
|---|

※令和2年～4年については、京都市の観光消費額の数値がないため、京都府全体の観光消費額は数値なし

(2) もうひとつの京都エリア別増減要因（推定）

<竹の里・乙訓エリア>

(向日市、長岡京市、大山崎町)

一部施設の一時休業等により観光入込客数は対前年比 92%と減少した。一方、飲食店や体験施設での客単価の増加やコロナで中止していたイベントの飲食ブースの再開により観光消費額は対前年比 162%と増加した。

<お茶の京都エリア>

(宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村)

神社・仏閣等ではインバウンドを中心に観光入込客数が増加したこと、コロナで中止されていたイベントや茶摘み等の体験ツアーの再開、道の駅の利用客が増えたこと等により、観光入込客数は対前年比 115%、観光消費額は対前年比 183%と増加した。

<森の京都エリア>

(亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市)

車を利用した旅行者が多く、道の駅の利用客が増加したことや、コロナで中止されていたイベントの再開、スポーツ関連施設の利用客が増えたこと等により、観光入込客数は対前年比111%、観光消費額は対前年比105%と増加した。

<海の京都エリア>

(綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、与謝野町、伊根町、京丹後市)

コロナ禍でニーズが高かった郊外への旅行が落ち着いてきたため、観光入込客数が対前年比 95%と減少した。一方、インバウンドが増加してきたことに伴い一人当たりの平均消費額が増加し、観光消費額は対前年比 112%と増加した。